

プリキュアと謎の青年

リゲイン

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ジャツカルはツインスパークと呼ばれる変身アイテムを使用します

これはジャツカルシリーズの一つでパラレルワールドです

ちなみに、プリキュアVS大怪獣軍団とは違います

ちなみに変身怪獣はQくタイガまで、ウルトラマンは初代からタイガまでです

突然現れた、メガビョウゲンと戦うグレース達、フォンテイナーが追い込まれたとき突然、巨大な獣が現れる

目次

孤高の魂	1
倒せ、悪の闇の侵略者	3
激突 ノットリガーVSダークロプスゼロ	6
轟く思い、絆の力お借りします	9
大地を揺るがす魔王獣	12
未来消滅 恐ろしきリセット	14
友情ーエターナルー	17
対決グレイブ 闇の力	20
混沌の破滅	23

孤高の魂

ジャツカル「ここは我を必要とする世界なのか？こいつを手に入れ
てから何かが変わるのか、この気配面白そうなことが起きそうだな」

ダルイセン「プリキュアが僕に勝てると思ってるの？」

グレース「このメガビョーゲン強い」

フォンテイナー「これまずいよ」

スパークル「これどうする？」

ダルイセン「これで終わらせてあげるよ、やれ、メガビョーゲン」

メガビョーゲン「メガ」

ダルイセン「まずは君からだ、キュアフォンテイナー」

フォンテイナー「しまった」

ツインスパーク「ツインライブ ホロボロス」

ホロボロス「グルルルル」

ダルイセン「なんだあの獣は、お前たちの仲間か？」

グレース「私たち知らないよ」

フォンテイナー「私たちは呼んでないし、あなたたちの仲間なん

じゃないの？」

ダルイセン「そんなわけあるか」

スパークル「じゃあなんなの、あの巨大な狼？は」

ホロボロス「グルルルル」

ダルイセン「誰であろうと関係ない、やれメガビョーゲン、プリキュ

アの前に奴を始末しろ」

メガビョーゲン「メガ」

ホロボロス「グルルルルル」

メガビョーゲン「ヒーリンググッバーイ」

ダルイセン「馬鹿な、メガビョーゲンを一撃で」

グレース「強い、あの狼」

ホロボロス「グルルルルル」

フォンテイナー「まずい、私たちはもう」

ジャツカル「無事かお前ら？」

のどか「狼が人間に？」

ちゆ「というか彼が変身してたみたいね」

ひなた「そういえば、さっきの狼は？」

ジャツカル「さっきの狼？ああ、ホロボロスの事か、ここにいるだろ」

ちゆ「それって人形でしょ？」

ジャツカル「これはスパークドールズと呼ばれるものこれをこつちのツインスパークと呼ばれるものを読み込ませれば変身できる」

のどか「そうだったんですか」

ジャツカル「それよりここはどこだ？」

ちゆ「ここはすこやか市です」

ジャツカル「どういうことだ、まるで意味が分からんぞ」

のどか「そういえばあなたはどこから来たんですか？」

ジャツカル「どこってあそこ」

ちゆ「空？」

ジャツカル「違う、宇宙だ」

のどか「ということは宇宙人!!」

ひなた「宇宙人って本当にいたんだ」

ジャツカル「それより話を戻す」

ひなた「ここは地球です」

ジャツカル「地球だど!!まさか銀河系第三番惑星の地球に来てしま
うとは」

ちゆ「それよりどうするんですか？これから」

ジャツカル「とにかくしばらくはここにいる、そうだ、あんた大丈夫
だったか？」

夫だったか？」

ちゆ「えっ、はい」

のどか「今頃で悪いんですけど、私、花寺のどかです」

ちゆ「沢泉ちゆです」

ひなた「平光ひなた」

ジャツカル「我はジャツカルだ、よろしく頼む」

3人「はい」

倒せ、悪の闇の侵略者

ちゆ「あつ、ジャツカルさん、ここにいたんですね」

ジャツカル「あんたは確かちゆ、なんかようか?」

ちゆ「あのこれ」

ジャツカル「食いもんか、助かる」

ちゆ「大丈夫ですよ」

ジャツカル「それよりさ、なんだあいつは」

ちゆ「あいつらはビョーゲンズって連中です」

ジャツカル「ビョーゲンズ?」

ちゆ「ビョーゲンズは自分達の住みやすい星に変えて支配するつもりなんです」

ジャツカル「なんか気に入らねえな、そいつら」

ひなた「いたいた」

のどか「ちゆ」

ちゆ「どうしたの?」

のどか「学校行かないと、遅れるよ」

ちゆ「あつ、分かったわ」

ジャツカル「気をつけろよ」

ちゆ「はい」

ジャツカル「ビョーゲンズ・・・か、気に入らねえものはぶっ潰す」

そのころ、別の場所では

グアイワル「ダルイセン、プリキュアにやられておめおめと戻ってきたのか?」

ダルイセン「別に、そもそもお前らこそ何のつもりだ?お前らが送り込んだ、デカイ獣が僕の妨害してきてさ」

シンドイーネ「デカイ獣?何のこと?」

ダルイセン「とぼけるなよ、狼のような奴を送り込んだろ?」

キングビョーゲン「我々は何もやっていない」

ダルイセン「じゃあ、なんだったんだあの巨大な獣は」

シンドイーネ「だったら、私が行くわ、ダルイセンの意味の分から

ない事に付き合いきれないし」

そして20分後

ジャツカル「暇だ、暇すぎる」

シンドイーネ「進化しろ」

ジャツカル「おい」

シンドイーネ「誰あんた？」

ジャツカル「さあな、あんた気に入らない、もしかして貴様、ビョーゲンズって奴らか？」

シンドイーネ「あんた、私たちを知ってるとはプリキュアの仲間か」
ジャツカル「理解不能だな」

シンドイーネ「なら仕方ない、進化しろナノビョーゲン」

ジャツカル「ちっ」

メガビョーゲン「メガビョーゲン」

ジャツカル「ちっ」

フォンテーヌ「そこまでよメガビョーゲン」

グレース「とにかくここは私たちが」

スパークル「ジャツカルさんは早く」

ジャツカル「助かる」

メガビョーゲン「メガビョーゲン」

ジャツカル「まずはこいつだ」

ツインスパーク「ツインライブ ウルトラマンオーブ」

メガビョーゲン「メガビョーゲン」

ウルトラマンオーブ「デュア」

スパークル「今度は巨人!!」

ウルトラマンオーブ「俺の名はオーブ 闇を照らして悪を打つ」

シンドイーネ「オーブ？誰だか知らないけどつぶしてやるわ、メガビョーゲン」

ウルトラマンオーブ「これでどうだ？ウルトラマンオーブ バーン

マイト ストビュームダイナマイト」

メガビョーゲン「メガビョーゲン」

シンドイーネ「いいわよ、やりなさい」

ツインスパーク「ツインライブ ギーストロン」
ギーストロン「こいつはどうだ？カッター光線」
シンドイーネ「ちよっ、なんなのよあれ!!」
スパークル「すごい切れ味」
ギーストロン「これで終わりだ、レーザー光線」
フォンテイナー「うわっ!!あれすごい」
メガビョーゲン「メガビョーゲン」
ジャツカル「終わった」
スパークル「とにかく戻ろうか」
フォンテイナー「そうね」

激突 ノットリガーVSダークロプスゼロ

ひかる「どうする?」

ララ「どうするって言われても何もないルン」

えれな「これからどうするかって」

まどか「そうですね、スターカラーペンも全部揃いましたし」

ユニ「私はレインボー星を戻せればいいわ」

ジャツカル「美しき 闇より迫る 戦士かな」

ララ「誰ルン」

ジャツカル「もう一度言う、美しき 闇より迫る 戦士かな」

ユニ「ちよつと、どういう意味よ」

ジャツカル「いづれ分かる」

えれな「なんだったのかな」

ユニ「でも5・7・5だったけど、何か意味があるわけ」

まどか「5・7・5は俳句です」

その時

カッパード「見つけたぞ、プリキュア」

ひかる「皆行くよ」

5人「分かった」

カッパード「来い、ノットリガー」

ドラゴンノットリガー「ノットリガー!!」

スター「行くよ」

ソレイユ「そうだね」

ミルキー「プリキュアミルキーショック」

セレーネ「プリキュアソレイユアロー」

ドラゴンノットリガー「ノットリガー!!」

コスモ「やった」

ドラゴンノットリガー「ノットリガー!!」

コスモ「効いてない」

カッパード「これで終わりだ、プリキュア」

その時

グレース「そうはいかないよ」

カツパード「何、まだプリキュアがいたのか」

スター「グレース」

フオンティーン「大丈夫？」

スパークル「私たちに任せて」

ドラゴンノットトリガー「ノットトリガー」

フォンディーヌ「あいつ強い」

スパークル「やるじゃない」

ジャツカル「やるか」

ツインスパーク「ツインライブ ダーククロプスゼロ」

カツパード「やれ、ノットトリガー」

ダーククロプスゼロ「はああああ」

ノットトリガー「ノットトリガー!!」

カツパード「何者だ？」

ダーククロプスゼロ「貴様の相手はこの俺だ」

カツパード「ちつ、無しか、やれノットトリガー」

ダーククロプスゼロ「無駄だ、ダーククロプスゼロスラッガー」

ドラゴンノットトリガー「ノットトリガー!!」

ダーククロプスゼロ「貴様など、勝てるはずがないんだよ、ダークロ

プスメイザー」

ドラゴンノットトリガー「ノットトリガー!!」

ダーククロプスゼロ「ダーククロプスショット」

ドラゴンノットトリガー「ノットトリガー」

ダーククロプスゼロ「永遠に戻れぬ次元の間に飛ばしてやる、デイメ

ンションストーム」

ドラゴンノットトリガー「ノットトリガー!!」

カツパード「覚えてろ」

ジャツカル「弱いな」

ひかる「あなたはさっきの」

ジャツカル「あんな奴、気に入らない、それだけだ、それに邪魔をするならつぶす」

ララ「あの巨人は何ルン？」

ジャツカル「あれは、ダークロプスゼロだ」

ちゆ「彼が味方でよかった」

ひなた「そうだね」

轟く思い、絆の力お借りします

ララ「つまり、みんなも彼に助けられたってことルン？」

まどか「つまりあの黒い巨人はあなたが変身した姿だと」

ジャツカル「そういうことだ、あれはダークロプスゼロ」

ユニ「ダークロプスゼロ？何よそれ」

ジャツカル「それはどうでもいい、それよりお前、それはなんだ？」

ララ「これは触覚ルン」

ジャツカル「触覚？」

ひかる「ララは宇宙人なの」

ジャツカル「宇宙人？そいつもか？」

ユニ「そうよ」

ジャツカル「それなのにダークロプスゼロのことを知らないのか？」

ユニ「知らないわよ」

ジャツカル「・・・分かった、説明する、ダークロプスゼロはサロメ星人が作り出したロボット・・・なはずだった」

まどか「はずだった？そのサロメ星人が作ったロボットではないのですか？」

ジャツカル「違う、もともとは別次元から流れ着いたベリアル銀河帝国がウルトラマンゼロを模して作り上げたロボット兵器だ」

のどか「ウルトラマンゼロ？」

ジャツカル「ウルトラマンゼロについてはいずれ変身するつもりだ」

えれな「それで、そのベリアル銀河帝国が作ったのがダークロプスゼロって事？」

ジャツカル「ベリアル銀河帝国が作ったのは帝国猟兵ダークロプスだ、ダークロプスゼロはそのプロトタイプだ、そして故障して放逐されて宇宙を漂流していたところをサロメ星人の一人へロディアって奴に回収されて改造を施されたのが、このダークロプスゼロだ」

そのころ、別の場所では

カッパード「テンジヨウ」

テンジヨウ「何よ、カッパード」

カッパード「あんたか、あのダークロプスゼロつてのを送り込んだのは」

テンジヨウ「ダークロプスゼロ？何よそれ？」

カッパード「テンジヨウではないとなるとアイワーンか？」

アイワーン「そんな奴じゃないっの」

カッパード「アイワーンでもないのか」

テンジヨウ「くだらない、ここは私が行く」

別の場所

ひなた「それより、どうすればいいのかな、これ」

ちゆ「うーん」

テンジヨウ「確かこの辺りにプリキュアの反応があったけどどこにいるのかしら、まあいいわ、やりなさいノットトリガー」

望遠鏡ノットトリガー「ノットトリガー」

ミルキー「テンジヨウ、何しに来たルン」

セレーネ「あなたをここで倒します」

テンジヨウ「ちようどいいわ、スターカラーペンをすべてもらうわよ」

望遠鏡ノットトリガー「ノットトリガー」

ソレイユ「くっ、これじゃ近づけない」

フォンテーヌ「プリキュアヒーリングストリーム」

望遠鏡ノットトリガー「ノットトリガー」

テンジヨウ「なっ、新たなプリキュア」

ジャツカル「仕方ないな」

ツインスパーク「ツインライブ ウルトラマンオーブ」

ウルトラマンオーブ「デュア」

テンジヨウ「なんだあの巨人は」

ウルトラマンオーブ「俺の名はオーブ 闇をあして悪を撃つ」

テンジヨウ「オーブ？聞いたことないな、やれノットトリガー」

望遠鏡ノットトリガー「ノットトリガー!!」

ウルトラマンオーブ「やるじゃん、ならこれだ、ギンガさん」

ツインスパーク「ウルトラマンギンガ」

ウルトラマンオーブ「エックスさん」

ツインスパーク「ウルトラマンエックス」

ウルトラマンオーブ「シビれる奴頼みます」

ツインスパーク「ウルトラマンオーブ ライトニングアタッカー」

ウルトラマンオーブ ライトニングアタッカー「ウルトラマンオーブ

ライトニングアタッカー 電光轟雷 闇を討つ」

フォンテーヌ「姿が変わった!!」

テンジヨウ「なんだと!!」

スパークル「ライトニングアタッカー、かっこいい」

スター「キラヤバー」

望遠鏡ノットリガー「ノットリガー!!」

ウルトラマンオーブ ライトニングアタッカー「ギンガエックスラ

イトニング」

望遠鏡ノットリガー「ノットリガー!!」

スター「やった」

ジャツカル「疲れた」

ララ「でも助けてもらったのはお礼を言うよ、ありがとルン」

ジャツカル「別に、我は、気に入らないものを破壊するだけだ」

大地を揺るがす魔王獣

ちゆ「そういえばジャツカルさんはどこに泊まってるんですか？」

ジャツカル「野宿」

のどか「あのなら私のところにきませんか？」

ジャツカル「いえその必要はない」

ひなた「でもお風呂とかは」

ジャツカル「風呂なら海だちなみに、飯は動物を狩っている」

ララ「でもそれじゃあ」

ちゆ「あの、なら私の家に来ませんか？」

ジャツカル「いいのか？ そうだな、お邪魔させてもらうわ」

ちゆ「はい」

そして20分後

アイワーン「プリキュア出てこいつーの」

ミルキー「アイワーン!!」

コスモ「アイワーン、やめなさい」

アイワーン「ことわるつーの」

スター「しようがないとめるよ」

フォンテイーヌ「そうね」

ソレイユ「あなたを止める」

セレーネ「私たちが」

アイワーン「無理だつーの」

ジャツカル「気に入らないな、やるか」

ツインスパーク「ツインライブ マガグランドキング」

アイワーン「プリキュア弱いつーの」

コスモ「くっ、ここまで」

マガグランドキング「グギャアアアオ」

アイワーン「なんだつーのお前」

マガグランドキング「貴様、気に入らねえなだからここで潰す、こ

の土の魔王獣で」

ララ「その声」

セレーネ「ジャツカルさん!!」

マガグランドキング「お前たちはそこにいろ、我が潰す」

アイワーン「お前が誰だか知らないけど私に勝つのは2万年早いっの」

マガグランドキング「その言葉そっくり返してやるぜ、我に勝つには2万年早い」

アイワーン「私は舐められるのは嫌いなんだっの」

マガグランドキング「面白い、来いよ」

アイワーン「消えろっの」

マガグランドキング「悪いが貴様ごときが何ができる?そもそも魔王獣にそんなもろい攻撃が効くと思うな」

アイワーン「無駄なら何度もやってやるっの」

マガグランドキング「雑魚が」

アイワーン「これならどうだっの」

マガグランドキング「もうあきらめろ、退き返せ、退くというなら無理には追わん」

アイワーン「私はプリキュアを倒さないと帰れないっの」

マガグランドキング「仕方ない、なら消えろ、マガ穿孔」

アイワーン「しまっ!!くっ、覚えておけっの」

マガグランドキング「なんども受けてやる、貴様の気が済むならな」

ララ「オヨー あのマガ穿孔って技、すごい破壊力ルン」

まどか「なんとというか、地底からの挑戦ですね」

ジャツカル「地底からの挑戦・・・か」

ちゆ「すごい」

ひなた「そうだね」

のどか「だけど、あの破壊力を見てしまうと、本当にジャツカルさんが敵じゃなくてよかったね」

ちゆ「そうだね」

未来消滅 恐ろしきリセット

ちゆ「ジャツカルさんそのツインスパークってどこで入手したんですか？」

ジャツカル「忘れた、どこだったかな、気づいたときには手に入れていた」

ちゆ「そうだったんですか」

ジャツカル「すまない」

のどか「ジャツカルさんは故郷の星に帰りたとは思うときってあるんですか？」

ジャツカル「思わないというかもう帰れない」

ひなた「なぜですか？」

ジャツカル「我々の星は超新星爆発でなくなった」

ひなた「ごめんなさい、そうとは知らなくて」

ジャツカル「気にするな」

ララ「もしかして、あなた、おうし座の惑星タウラス出身ルン？」

ジャツカル「そうだが、知ってるのか？」

ララ「モチロンルン」

ユニ「惑星タウラスっておうし座の中でもかなりの文明が発達してるって聞いたことがあるけど」

ジャツカル「ああ、確かにこの星よりはかなりの文明が発達している」

ユニ「でもどうして超新星爆発を？」

ジャツカル「確か星の寿命だって聞いたな」

ちゆ「じゃああなたの星の人たちは？」

ジャツカル「他の惑星に移住した。ちよつと出かけてくる」

ちゆ「分かりました」

ジャツカル「惑星タウラスは滅んだもうない」

エール「クライアス社あなた達は許さない」

アンジュ「ここからは、通さないよ」

エトワール「私たちは負けない」

アムール「だけどどうすれば」
マシエリ「あきらめちやダメなのです」
アムール「そうです、諦めなければ必ず軌跡が起こるって」
ツインスパーク「ツインライブ ギャラクトロン」
ギャラクトロン「ギャラクトロンスパーク」
乳母車オシマイダー「オシマイダー!!」
アムール「今のは」
チャラリート「何お前？」
ギャラクトロン「貴様、何が目的だ？」
チャラリート「俺たちは未来の消滅」
ギャラクトロン「愚かな、貴様は危険だ、リセットする」
チャラリート「意味分らないな、やれオシマイダー」
乳母車オシマイダー「オシマイダー!!」
ギャラクトロン「悪意の持つ人間は排除する」
乳母車オシマイダー「オシマイダー」
ギャラクトロン「ギャラクトロンスパーク」
乳母車オシマイダー「オシマイダー!!」
ギャラクトロン「次はこれだ」
ツインスパーク「ツインライブ グローカービショップ」
アムール「姿が変わった」
マシエリ「さつきとは違うロボットなのです」
アンジュ「すごい」
乳母車オシマイダー「オシマイダー!!」
グローカービショップ「ジルサデスビーム」
乳母車オシマイダー「オシマイダー」
ジャツカル「大丈夫か？」
はな「あなたは？」
ジャツカル「気にするな」
さあや「さつきのは？」
ルールー「見たこともないロボット、あれはクライアス社のよりか

なり高性能でした」

ジャツカル「クライアス社？」

えみる「クライアス社というのはさっきの連中です」

ジャツカル「そっか、だいたい分かった」

ほまれ「だいたい分かったって分からないで倒したの？」

ジャツカル「気に入らなかつたからな、あとあんたの質問に答えてなかつたな、あれはスペースリセッター グローカービショップ シビルジャツジメンター ギャラクトロン」

ルールー「グローカービショップ ギャラクトロン？」

ジャツカル「まっ、気にするな」

友情―エターナル―

ジャツカル「となると、貴様はアンドロイドだと
ルールー「そういうことです」

はな「そういえば、あなたたつて宇宙人なんですね」
ジャツカル「そういうことだ」

さあや「それより、あなたはどこから？」

ジャツカル「おうし座の惑星タウラス」

えみる「そんな星聞いたことないのです」

ジャツカル「当たり前だ」

ほまれ「ふーんイケてんじゃないん」

ジャツカル「それにしても奴らは気にいらぬな」

ちゆ「あのジャツカルさん」

ジャツカル「ちゆか、どうした？」

ちゆ「あつ、すみません、邪魔してしまいましたか？」

ジャツカル「別に気にするな、それでどうした？」

ちゆ「よかったです、えつとですね、これ荷物です」

ジャツカル「ああ、ありがと」

はな「そういえばあのグローカービショップつてどうやってなるん
ですか？」

ジャツカル「このツインスパークつて奴でな」

ルールー「そうなんですか」

ほまれ「そういえばツインスパークのツインつてなんですか？」

ジャツカル「そのツインの意味は、変身モードとこの怪獣の一部え
お武器モードをに変える事が出来る」

さあや「？どういうことですか？」

ジャツカル「実際にやって方がいいな」

ツインスパーク「ツインスランス タツコングハンマー」

ジャツカル「まあこういうことだ」

ルールー「高熱エネルギー、反応あり、温度は一万度」

ジャツカル「ふーん、そういうことも出来るんだ」

そのころ、クライアス社では
チャラリート「なんなんだよ、あのロボット!!」
ジエロス「あんた何キレてるのよ」
チャラリート「なんなんだよあのロボット。オレちゃんの邪魔しや
がって」

パップル「あんた、ルールーに妨害されたくらいで何怒ってるのよ」
チャラリート「ルールーな訳ないだろ、なにが悪意のある人間は滅
亡させるだよ」

ビシン「だったら僕が言っていいたかな？」

チャラリート「好きにすれば」

そして20分後

ジャツカル「どこかに気に入らねえ奴いねえかな」

ビシン「弱いね、プリキユア」

ジャツカル「見つけた、あいつ気に入らないし」

アムール「くっ、こいつ強い」

エトワール「どうすれば」

アンジュ「負けるわけにはいかないのよ」

ツインスパーク「ツインライブ ウルトラマンネクサス」

ビシン「消えなよ、プリキユア」

ウルトラマンネクサス(ジュネツスブルー)「アローレイシユトロー
ム」

ビシン「何!!」

スパークル「大丈夫？」

エール「ありがとう」

ウルトラマンネクサス(ジュネツスブルー)「お前ら、場所変更する
ぞ」

フォンテーヌ「場所変更？」

ウルトラマンネクサス(ジュネツスブルー)「メタフィールド展開」

スパークル「なんかめっちゃすごい場所んだけど」

エール「でもこのフィールドおかげで被害は出ないだね」

ウルトラマンネクサス(ジュネツスブルー)「面倒だからすぐ終わら

せる、オーバレイシユトROOM」
ビシン「くつ、なんなんだよこの力、くつ、退きかえしてやる」
エール「やった」
ジャツカル「ジエンド」
ひなた「終わった」
ジャツカル「帰るぞ」
ちゆ「はい」

対決グレイブ 闇の力

ジャツカル「暇すぎて死にそう」

ちゆ「ちよつといきなり何を言ってるんですか?」

ジャツカル「我はもともと戦闘部隊に所属していた、そのため戦闘を嫌というほどしていた、だが今は戦闘がない、暇すぎて話にならない」

ほまれ「そう言ってもね」

ジャツカル「ちよつと出かけてくる」

ほまれ「分かりました」

ジャツカル「まずいな暇すぎて笑えないな」

グレイブ「プリキュア、消えろ」

ホイップ「まずい!!」

ジェラート「私たちはまだあきらめない」

カスタード「あいつを倒すまでは」

マカロン「負けるわけにはいかないのよ」

シヨコラ「だから、私たちは負けられない」

パルフェ「あんたを倒すまでは」

その時

ジャツカル「気に入らないな、お前」

グレイブ「なんだ貴様?」

ジャツカル「貴様のようなクズにこたえる必要はない」

シヨコラ「危ないよ、下がって」

ジャツカル「我に命令するな、あいつは気に入らねえ、我がつぶす」
マカロン「ちよつと、危ないのは事実なのよ、そもそもあなたがあいつを倒すって無理よ」

ジャツカル「貴様にはまずはこいつだ」

ツインスパーク「ツインランス ウルトラマンダーク」

ウルトラマンダーク「デュア」

グレイブ「なんだ貴様?」

ウルトラマンダーク「我はウルトラマンダーク、漆黒の闇が我を呼

ぶ」

グレイブ「下らん、貴様は俺が潰す」

ウルトラマンダーク「ダーク八つ裂き光輪」

グレイブ「無駄だ」

ウルトラマンダーク「面倒だな、だったらこいつはどうだ？」

ツインスパーク「ツインライブ　ウルトラセブンダーク」

ジェラート「姿が変わった」

ウルトラセブンダーク「消えろ、ダークワイドショット」

グレイブ「無駄なことを」

ウルトラセブンダーク「しゃあねえな、ラストはこれだ」

ツインスパーク「ツインライブ　ウルトラマンジードダークネス」

ウルトラマンジードダークネス「退き返せ、さもなければここでつぶす」

グレイブ「ふぎけるな、貴様をつぶす」

ウルトラマンジードダークネス「そうか、なら仕方ない、レッキン

グダークネスバースト」

グレイブ「ふぎけるな」

ウルトラマンジードダークネス「邪魔だ、消えろ」

グレイブ「ぐあああああああ」

ウルトラマンジードダークネス「これで終わりだ」

グレイブ「なんだ、こいつ、ぐあああああああ」

マカロン「あいつ強いわね」

シヨコラ「グレイブを簡単に」

ジャツカル「排除完了」

あおい「なんだあいつ」

ジャツカル「大丈夫か？」

カスタード「はい」

ジャツカル「そうか、我は戻るか」

ホイップ「待って」

ジャツカル「なんだ？」

ホイップ「いえ何でもないです」

ジャツカル「そうか」

混沌の破滅

ジャツカル「それにしても、邪魔をする連中が多すぎる」

ちゆ「ジャツカルさん、どうしたんですか？」

ジャツカル「どうした？」

ちゆ「えっと、その力をてにいれた経緯って」

ジャツカル「忘れたというか、思い出したくない」

ちゆ「ごめんなさい」

ジャツカル「それにしてもあいつら目障りだな、というかあいつらなんなんだ？」

あきら「あいつはグレイブ、ノワールって奴の手下なんです」

ジャツカル「ノワールか、明らかに気に入らねえ感じだな」

ひまり「ジャツカルさんっていつもそんなかんじなんですか？」

ジャツカル「というと？」

ひまり「気に入らないから倒すって感じ」

ジャツカル「そうだが、それがどうした？」

ひまり「それは、あなたは平和のために戦ってるんじゃないんですか？」

ジャツカル「違う、我はただ潰せればいい、気に入らない奴を」

いちか「なんでですか？」

ジャツカル「あんたに我の何が分かる？大切な者を失った気持ちなぞ」

あおい「大切な者・・・」

ゆかり「なんか聞いてはいけない事を聞いたんじゃないの？」

いちか「そうかも」

そのころ、ジャツカルは

ジャツカル「気に入らねえ、なぜこうもイライラする」

ソルテイ「もつとキラキラルをもつと」

ジャツカル「おいその女」

ソルテイ「あらっ？私のこと？」

ジャツカル「気に入らないからあんたをぶつ潰す」

ソルテイ「あらっ？そう、なら仕方ないわね」
ジャツカル「うざいんだよ、お前」

ツインスパーク「チェンジ ヒュプナス」

ヒュプナス「むかつく、お前をつぶす」

ソルテイ「あなたも愛とかくだらないもののためにやってるわけ？」

ヒュプナス「はあ？愛だの恋だの下らねえ、そういうのは目障りなだけだ」

ホイップ「今の言葉・・・本当にそうなの？」

ヒュプナス「この世は力だ、そうでもしないと守れるものも守れない」

カスタード「・・・力がすべて・・・それって悲しいことですね」

ソルテイ「これはどうかしら？」

ヒュプナス「ちっ、この塩目障りだな」

ツインスパーク「ツインライブ セグメゲル」

セグメゲル「これでどうだ」

ソルテイ「くっ」

セグメゲル「どうだ」

ホイップ「あなたはなんで愛は必要ないの」

ソルテイ「私は裏切られるのが嫌なだけよ」

セグメゲル「ああ、目障りなんだよ、愛だの恋だのむかつくんだよ」

ソルテイ「しまった、きやああああ」

セグメゲル「これでいい」

いちか「ジャツカルさん、どうして」

ジャツカル「言っただろ大切な者を失ったと」

いちか「じゃあそれが原因で」

あおい「そうかもしれないな」